

一般社団法人 埼玉県バスケットボール協会

SAITAMA BASKETBALL DEVEROPMENT LEAGUE

通称：SBDL：埼玉県バスケットボール育成リーグ

～ リーグ文化醸成へ向けた取り組み ～

2018.11.4 JBA U15カテゴリー第2回全国部会長会議



Ver.3

1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
2. リーグ化の意義
3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造
4. 運営と人的配置・設置手順
5. リーグ戦レギュレーション
6. 今現在、準備を進めていること



1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯

2. リーグ化の意義

3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

4. 運営と人的配置・設置手順

5. リーグ戦レギュレーション

6. 今現在、準備を進めていること



1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯



おおまかな経緯

※ 詳細は「配付資料」参考

2017.12月：U15C準備会発足、年間スケジュール原案作成

2018. 1月：U15C部会組織表作成、役員選出、

既存大会とリーグ戦の関わり方について確認

2019. 2月：JBAで示されたレギュレーションの共通理解

リーグ戦、入替戦、U15選手権予選の日程調整

2019. 3月：役員名簿完成、各セクションの仕事確認

2019. 4月：第1回U15C部会において県内へ情報伝達

2019. 5月：参加費、オフシーズン検討、スケジュール見直し

2019. 6月：進捗状況と課題の整理

おおまかな経緯

※ 詳細は「配付資料」参考

2019. 7月：課題確認

冊子作成、運営費の整理、スケジュール再考

登録規定確認、リーグ戦説明会日程、連絡体制

2019. 8月：冊子内容確認（組織表、要綱、保険、年間計画、
部署毎の実施運営マニュアル、予算・決算）

2019. 9月：スケジュール再考

グループ分け、グループ発表、U15選手権申込、
夏場の試合避ける、など、、、)

2019.10月：登録規定とエントリー規定（ユニット）

部署毎の冊子作成事項と提出期限確認

4

リーグ戦に関わる用語の解説

- Prefectural League → 県リーグ(略称：PL) (最大3階層)
- Regional League → 地区リーグ(略称：RL) (最大3階層)
- Witer Round → 14歳以下のリーグ戦(略称：WR)
- Spring Madness → 県リーグ入れ替え戦およびRL上位
チームによるチャンピオンシップ(略称：SM)
- Autumn Round → 15歳以下のリーグ戦(略称：AR)
- Winter Madness → U15選手権県予選(略称：WM)
- チーム → JBAにチーム登録した組織の単位
- ユニット → リーグ戦にエントリーする組織の単位

5

1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
- 2. リーグ化の意義**
3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造
4. 運営と人的配置・設置手順
5. リーグ戦レギュレーション
6. 今現在、準備を進めていること



2. リーグ化の意義



U15カテゴリー部会設置の背景：課題と解決策

①中3のプレー環境整備

②クラブチームの環境整備

③Bユースの環境整備

④試合数の格差

⑤未登録チーム・未登録選手

⑥並列する複数の組織

競技会システムの見直し

- ↳ リーグ戦の推奨
- ↳ クラブチーム参加可能な大会の創設
- ↳ JBA主催単独チームによる全国大会 (都道府県予選あり)の創設

育成方針、育成システムに則った大会システムの検討

登録制度・体系の見直し

必要な体制、組織の構築

■ よりよい育成への変革

現行トナメントの**育成年代へのデメリットの改善**



①リーグ化により選手として**経験の場の増加**
補欠文化からの脱却→**普及・育成**

②リーグ化によりチームとして**拮抗した試合数の増加**
適正競技レベルでの経験値増加→**育成**

今回の改革の主軸 ↓ ↓ ↓ これは、絶対。

**登録したすべての選手に経験の場を与えること。
チームとして拮抗した試合を増やすこと。**

■ よりよい育成への変革

今回の改革の主軸

育成年代のすべての子どもたちのための変革

- ① すべての登録選手 → 経験の場の増加 → 補欠文化からの脱却
- ② すべてのチーム → より拮抗した試合 → 適正競技レベルでの経験値増加

つまり、



**県内トップレベルの数チームや数人の選手のためだけに
良い環境が整備されるようなリーグ化への変革ではない。**

だからこそ、



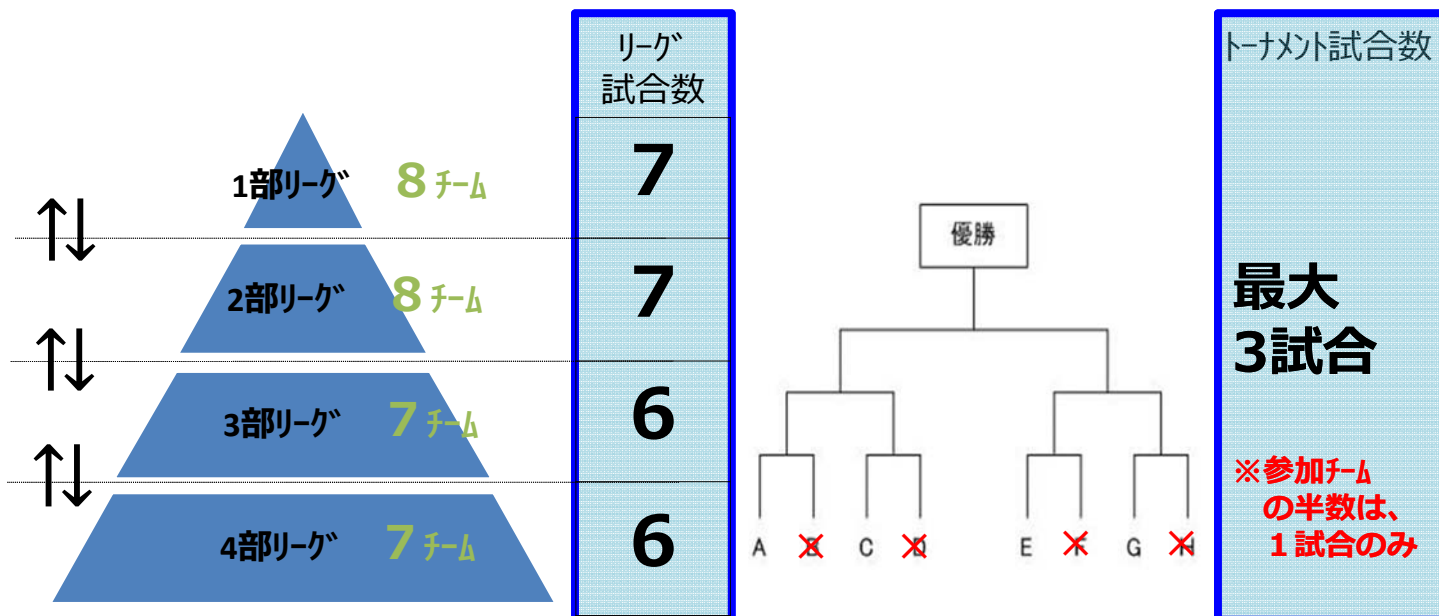
**子どもたちを支える我々大人の、多くの力が絶対に必要。
(一部の大人だけで運営すれば、一部の子どもたちしか恵まれない。)**

埼玉県U-15を預かる我々は、



**すべての子どもたちを支えたい。
だから、すべての大人で運営しましょう。
子どもたちのために、力を貸してください。**

【普及】一定試合数確保によるプレー機会の創出



- 参加チームに対して一定試合数が確保される
- 適正競技レベルでの試合が増加することで拮抗した試合のなかで経験値増加が見込まれる

10

【試合数の変化イメージ】

■ 年間試合数(トーナメントのみ)

(参考大会：2015バスケ)
年間4大会設置

県内登録チーム数 171

全大会優勝した場合	20 試合
// バスト8の場合	12 試合
// 初戦敗退の場合	3 試合

■ 年間試合数(リーグ・トーナメント並行実施)

(参考大会:2015サッカー)
年間4大会設置

+
リーグ大会(9ヶ月)設置

県内登録チーム数 171

全大会優勝した場合	36 試合
// バスト8の場合	31 試合
// 初戦敗退の場合	22 試合

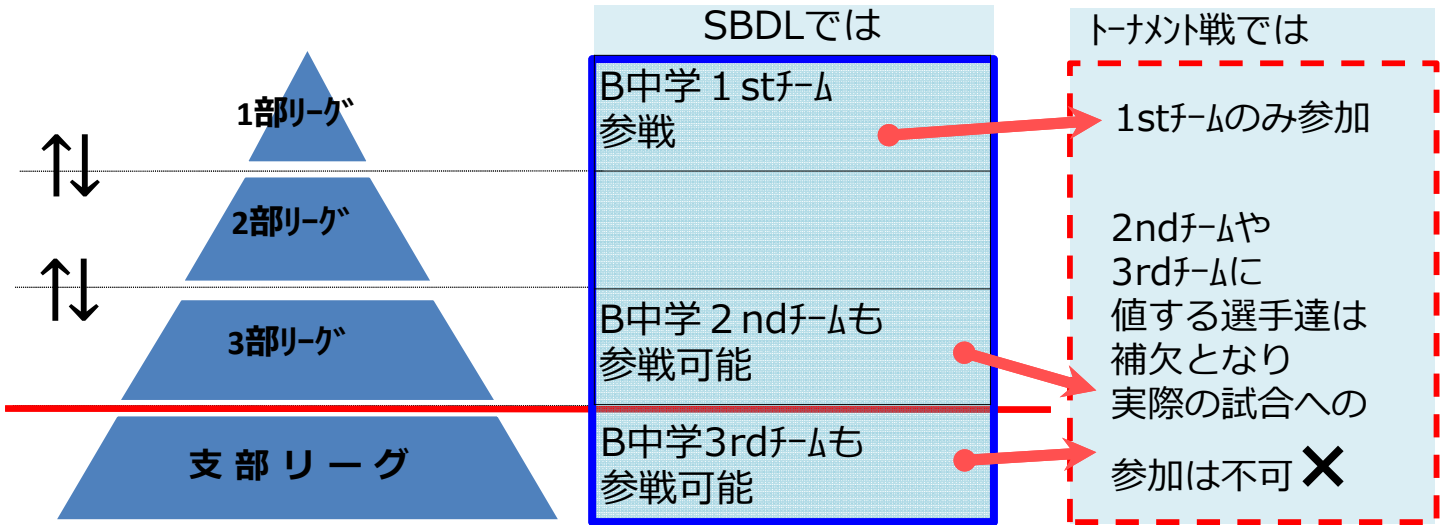
- リーグ試合数が確保される = 試合のある日常

11

【普及】 補欠をなくすプレー機会の創出

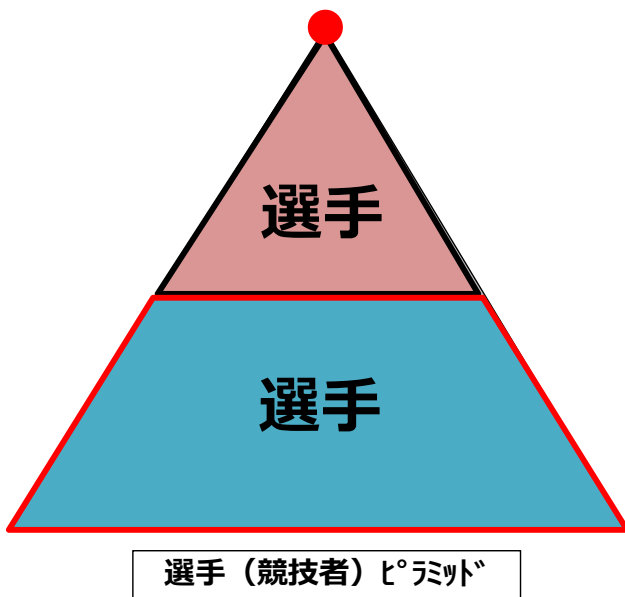
【複数チームエントリーのイメージ】

◆リーグ戦にB中学30人を3チームでエントリーした場合



- 複数チームエントリーの場合、**2チーム目以降の登録人数は7名以上とする**
- 一人の選手が複数のチームに参加することは、**当然認めない。**

【育成】 選手ピラミッドを効率化する

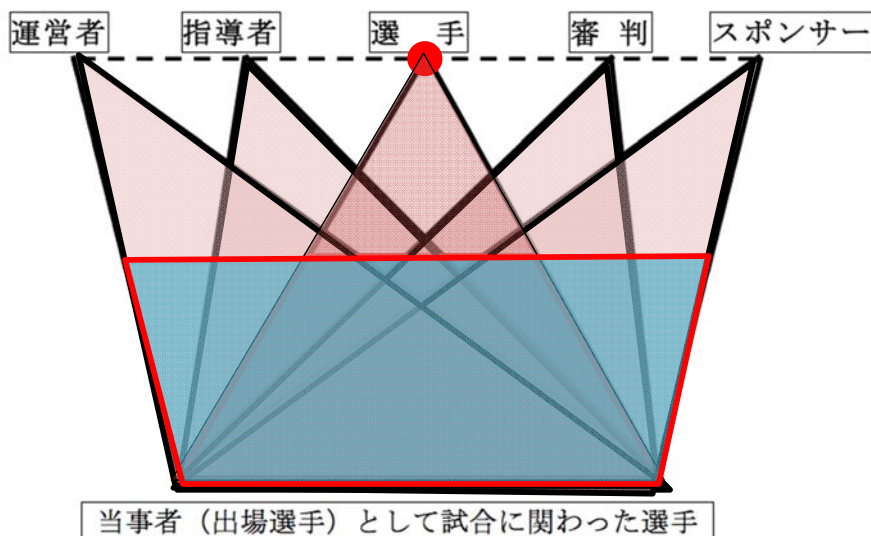


トーナメント文化
ピラミッドの上層のみ高める
下層は補欠となる

リーグ文化
ピラミッド下層にも**競争機会**を作る
下層に出場選手として**機会**を作る

- 上層のみを高めるのではなく、これまで陽の当たりにくかった**すべての選手を大切に育てていく**ということ。

【普及】バスファミリーピラミッドの数を増やす



出場選手としての
競技との関わりの増加
↓
多様な競技との関わり方
バスファミリーの増加
↓
持続可能な競技発展へ



- **スポーツへの多様なかかわり方が、競技を発展させるだけでなく、その人自身の人生を豊かにし、絆の深い社会を構築していくことになる。**

■リーグ化に伴う課題

リーグ化により以下の様な課題が想定される。

①会場確保

試合数の増加による会場の確保

②審判確保

試合数の増加による審判の確保

③日程確保

既存トナメントと並行するリーグ日程の確保と調整

■ リーグ戦のスタートへ向けて

適切な**普及**は、

**バスケットボールファミリーを増やし、
未来の日本バスをより良く作り替えていきます**

適切な**育成**は、

未来の強い日本代表作りへ繋がっていきます

リーグ化の実現には、各府県や都道府県それぞれの異なる実態から、47通りの課題があると考えられます。

- **課題と向き合いながら育成と普及の未来を作っていく作業は、私たちバスケットボールファミリーの絆を高めるチャンスとも考えられます。**

■ 事業概要

1. 目的達成のため、**都道府県協会（PBA）の独自性を活かしながら計画・実施する事業**である。
2. リーグ戦実施が目的ではなく、**リーグ戦文化を定着させることで、拮抗した試合を設定し、選手や指導者の育成を目指すもの**である。
3. 埼玉県U15C部会では、**2020年度完全実施**。

■ 事業概要

今回の事業を行うことにより、様々な場面での変化が起こる。

① 試合数の増加 ② 1団体1チームからの脱却

- 総当たりになるため**公式試合数は増加**する。
- 1団体1チームという制限は設けず、技量や年齢に応じて複数のチームでの参加が可能のため、**これまで出場機会が少なかった選手にも、公式戦出場機会の増加が見込まれる。**

ただし、これらは新しい変化であり、既存の考え方だけでは適切な運営は難しい。**これから先、より良い環境を求めその機会を増やすということは、その分、支える指導者や役員の協力が必要。**

これまでも多くの方々が様々な方面から埼玉県バスケットボールの向上にご尽力いただきました。**今回の事業は、選手の育成を第一義とする一方で、埼玉県のバスケットボールが益々発展することを目指すものでもあります。**

18



バスケットボールが 日本を元気にします!

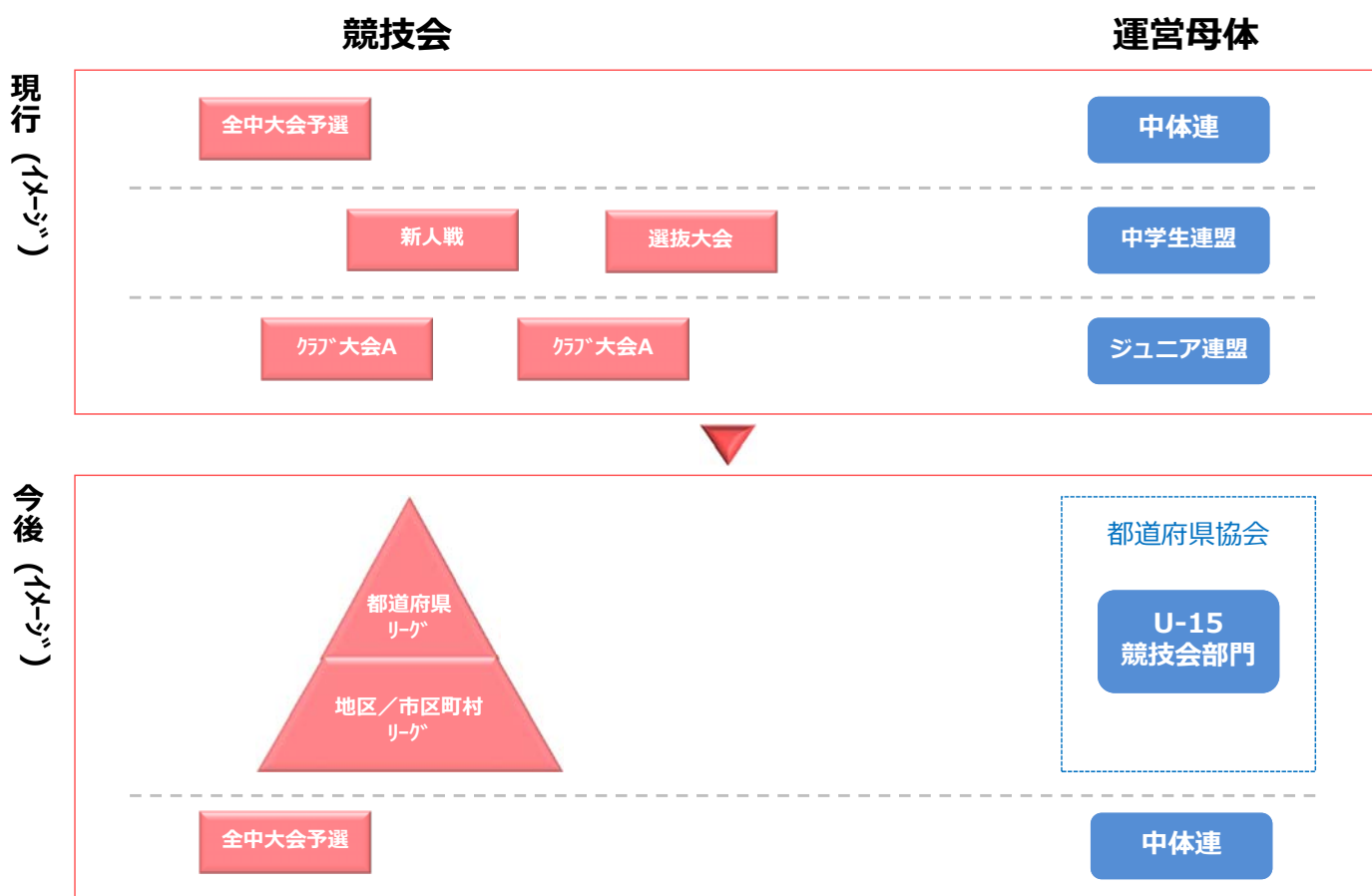
1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
2. リーグ化の意義
- 3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造**
4. 運営と人的配置・設置手順
5. リーグ戦レギュレーション
6. 今現在、準備を進めていること



3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

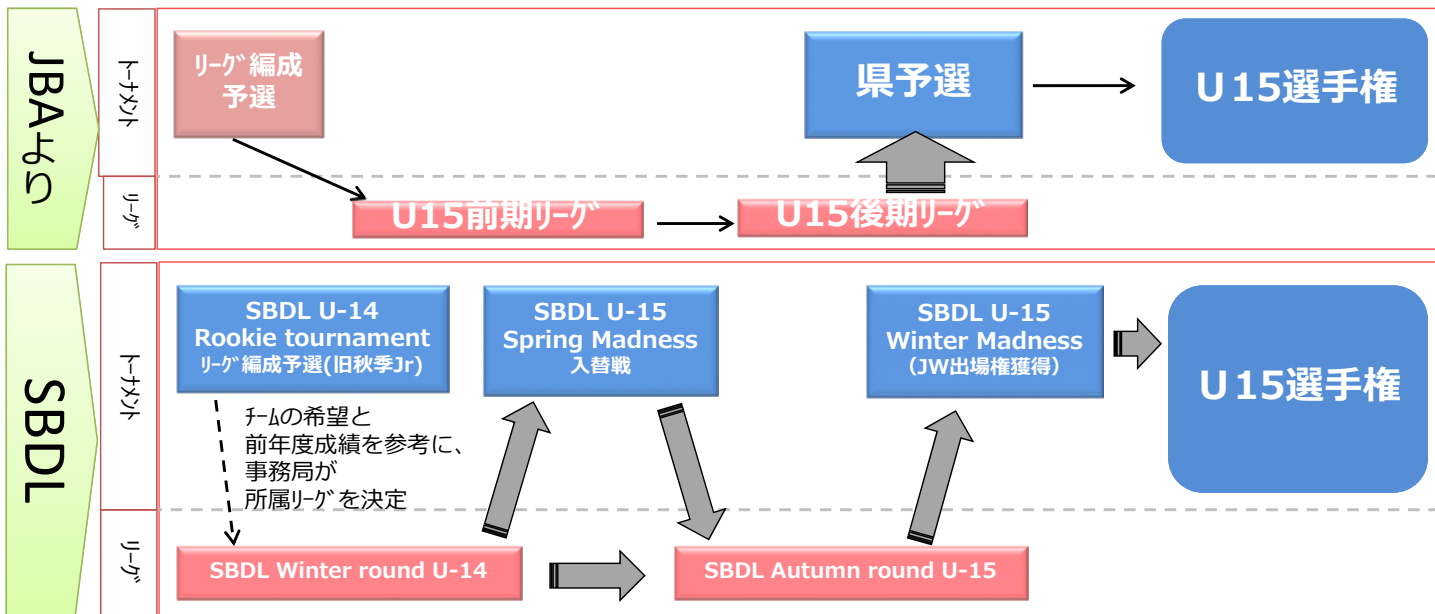


■ U15 各種競技会と運営母体



■ U15リーグとの関連

- 県予選はトーナメント形式で実施するが、予選の参加資格をU15リーグへの参戦を条件とする (JBAより) **・・・リーグ戦へ参戦していない選手はU15選手権の権利はない**
埼玉県では2019より実施(JBA2022年完全実施)
- U15後期リーグ 上位グループで県予選トーナメントを組む (JBAより)



22

月	Winter Round(U-14)	Autumn Round (U-15)	その他
4		※ 事務局 WR 結果集約・SM準備	1 JBA登録開始
5	15~31 WRチーム入り期間 (TeamJBA, JBAに支払い)	第2(日) SM代表者会議(要綱発表) 第4(日) SM実施(支部CLはCS実施)	10 JBA登録終了 ● 体育祭が多い
6	第4(日) 登録チーム代表者会議で リーグ戦全体の要綱配布 (14世代卒業までの見通し)	1~14 ARチーム入り期間 (TeamJBA, JBAに支払い) 第4(日) 事務局：登録代表者会議で AR所属リーグ, グループ編成発表	第2(日) 総会 (新チーム総数, 予算, 決算, 年計, 新役員等承認) 第4(日) 登録チーム支部毎代表者会議 ● 中体連 総体 (地区予選)
7		※ グループ役員：計画準備期間	25~31 JBA移籍期間 ● 中体連 総体 (県大会)
8	第2(日) WR所属リーグ決定戦要綱配布 (AR所属リーグ, グループ編成発表)	第2(日) AR要綱提出(グループ内通知) 第3(日) 全地区AR要綱：県HP掲載 ※ AR参加確認書提出(選手最終エントリー)	
9	第2(日) WR所属リーグ決定戦 (必要なケースのみ)	1 AR開始	● 体育祭が多い
10	第2(日) 事務局：WRグループ編成発表		
11	※ グループ役員：計画準備期間	7 AR終了 (AR翌日WM要綱配布) 17 AR結果報告締切	第2.3.4(日) WM実施(参加申込前日) 31 JBA U15選手権申込
12	第2(日) WR要綱提出(グループ内通知) 第3(日) 全地区WR要綱：県HP掲載 ※ WR参加確認書提出(選手最終エントリー)		JBA U15選手権本選
1	4 WR開始		
2			第3(日) U15C部会 (総会資料準備： 予算, 決算, 年計)
3	20 WR終了 31 WR結果報告締切		

23

3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造



- ・まず参加希望受付。希望と前年度成績を元に、リーグ振り分け。
- ・最大数を上回る場合のみ、所属リーグ決定戦。9月第1.2（日）
- ・1~3月U14WR。5月CM（入替戦）。（6月総体）
- ・7月総体県大会後に移籍期間。
- ・9/1~11/7U15県AR
- ・11/15~11/30WM予選

→ 現14歳 → 現13歳 → 現12歳

	4	5	6	7	8
期登録	4/1				期多
	5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		間着 7/25
			学総 地区	学総 県大	全中 7/31

(2019~2020)

リーグ準備	9	10	11	12	1	2	3	4	入替戦	6	7	8
	Autumn Round (U-15) 9/1~11/7		★ WinterMadness 11/15~11/30					期登録 4/1	U-15 Challenge Match			期移
		県大会 9月第3（日・月） U-14 Rookie tournament			Winter Round(U-14) 1/4~3/20			5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		間着 7/25
既存 トナメント	新人 地区	新人 地区	新人 県大		U15選手権はフシのみ 3月に開催予定		プレ 選手権			学総 地区	学総 県大	全中 7/31

(2020~2021)

リーグ準備	9	10	11	12	1	2	3	4	入替戦	6	7	8
	Autumn Round (U-15) 9/1~11/7		★ WinterMadness 11/15~11/30					期登録 4/1	U-15 Challenge Match			期多
		県大会 9月第3（日・月） U-14 Rookie tournament			Winter Round(U-14) 1/4~3/20			5/10		U-14 所属リーグ決定戦 9月第1第2（日） 必要なケースのみ		間着 7/25
既存 トナメント	新人 地区	新人 地区	新人 県大	選手権	U15選手権は第一回大会から 毎年12月に開催予定					学総 地区	学総 県大	全中 7/31

3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造



■ 年間計画

	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月							
週	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
リーグ					☆☆																																															
所属 決め																																																				
JW																																																				
既存 トナメント																																																				
DC																																																				
移籍期間																																																				

既存のトナメント日程、月1回の休息、各地区の実態や学校スケジュールなどを考慮してリーグ日程を入れこみ年間計画を作成

- DCは、原則、第4週（土）14:00-16:00の設定とする。
(集合13:30、練習14:00-16:00、解散目安16:30)
(毎週土曜授業の私立や、大会前で午前はチーム練習へ参加することなども考慮して、午後2時間設定)
- DLは、毎週（日）を基本とする。(実際は〆〆毎に調整。(土)利用可)
- DLは、1ラウンド期間が3ヶ月(約12週)。試合必要週は9週。
よって毎月1週は休息とすることが可能。
- 暑い日のDLは半日実施のみ可、オフィシャルタイムアウトは必須とする。
(1チームあたり1試合まで。熱中症の危険があるため、2試合は行わない。SBAガイドライン厳守。)

- ▲ 新人大会
- △ 全中
- ★ ジュニアオールスター
- ※ プレJW 2020のみ
- ◆ JW 2020~
- Winter Madness
- ◎ U-14 所属リーグ決定戦
- ☆ U-15 Challenge Match

※ 実際の日程詳細は、各ブロックごとに調整し、運営委員が作成する

■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

I リーグの希望と決定権限

どのリーグに所属するかは希望制。希望と前回リーグの結果をもとに、SBDL運営事務局により所属リーグが決定される。

II 選択肢

希望するリーグの選択肢は以下の4つである。

ア Champions leagueまたはPremier league

イ Super league

ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league

エ 4支部ごとのSuper league

■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

III 希望の条件

ア Champions leagueまたはPremier league

→ U15選手権およびU15選手権県予選に参加する意思があり、環境（選手・保護者・場合によっては学校関係者の承認）が整っていること

→ リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

イ Super league

→ リーグ戦開催場所が県内全域になっても対応ができること

ウ 4支部ごとのChampions leagueまたはPremier league

→ リーグ戦開催場所が自チームの支部全域になっても対応ができること

エ 4支部ごとのSuper league

→ リーグ戦開催場所が自チームのブロック全域になっても対応ができること

■ 「U-14 所属リーグ構造」

Prefecture league (フﾟリヱクチャｰﾘｰｸﾞ : 以下 P L)・・・県内全域での活動

	名称	略称	区分	所属チーム最大数
県	Champions league	C	1部	10 (10チーム×1グループ)
	埼玉県上位ベスト8相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Premier league	P	2部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	埼玉県上位ベスト16相当の力を持つチームが行うリーグ戦			
	Super league	S	3部	10×希望数 (希望次第、並列)
埼玉県内全域を対象に県レベルで実力を高めたいと考えるチームが、複数のブロックに分かれて行うリーグ戦 県内全域を希望するチーム数によってグループ数が決まる				

■ 「U-14 所属リーグ構造」

Regional league (ﾘｰｼﾞョナルﾘｰｸﾞ : 以下 R L)・・・4支部全域 or 11ﾌﾞﾛｯｸ全域での活動

	名称	ブロック	略称	区分	所属チーム最大数
東部	Champions league		Re-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Re-P	5部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	Super league	東部 A	Re-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		東部 B	Re-SB		
東部 C		Re-SC			
西部	Champions league		Rw-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rw-P	5部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	Super league	西部 A	Rw-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		西部 B	Rw-SB		
西部 C		Rw-SC			
南部	Champions league		Rs-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rs-P	5部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	Super league	南部 A	Rs-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		南部 B	Rs-SB		
南部 C		Rs-SC			
北部	Champions league		Rn-C	4部	10 (10チーム×1グループ)
	Premier league		Rn-P	5部	20 (10チーム×2グループ 並列)
	Super league	北部 A	Rn-SA	6部	無限 (希望次第、並列)
		北部 B	Rn-SB		

■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

IV 所属リーグの区分け方法

I Champions leagueまたはPremier leagueの決め方

ア CLとPLが5チーム以下

- 1 CLとPLでひとつのリーグ戦を開催。
- リーグ戦を2周行う。

イ CLとPLが6チーム以上10チーム以下の場合

- CLとPLでひとつのリーグ戦を開催。

ウ CLとPL 11チーム以上20チーム以下の場合

- 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定。
- ただし、前回リーグ戦成績が同じ場合は当該チームで決定戦。
- **前回リーグ戦に参加していないチーム（新規参入 or R L）の扱いは実績なしとして扱う。**

■ 「U-14 所属リーグ決定戦」

IV 所属リーグの区分け方法

エ CLとPLが20チーム以上30チーム以下の場合

- 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。

オ CLとPLが31チーム以上の場合

- 前回リーグ戦の結果を参考にして序列化し、所属リーグを決定する。
- 31番目以降はSuper leagueに所属する。

希望数	CL	PL	希望数	CL	PLa	PLb
11	6	5	21	10	6	5
12	6	6	22	10	6	6
13	7	6	23	10	7	6
14	8	6	24	10	7	7
15	9	6	25	10	8	7
16	10	6	26	10	8	8
17	10	7	27	10	9	8
18	10	8	28	10	9	9
19	10	9	29	10	10	9
20	10	10	30	10	10	10

【Super leagueの決め方】

ア SLが5チーム以下

- SLでひとつのリーグ戦
- リーグ戦を2周行う

イ SLが6以上10以下の場合

- SLでひとつのリーグ戦

ウ SLが11以上の場合

- SL内のどの山に所属するかは、前回リーグ戦の結果を参照にして振り分け
- 前回リーグ戦でSLに参加していないチームは抽選により振り分ける。

■ チーム数・試合数

チーム数	1周/1チーム	総試合数	2周/1チーム	総試合数
10チーム	9試合	45試合	18試合	90試合
9チーム	8試合	36試合	16試合	72試合
8チーム	7試合	28試合	14試合	56試合

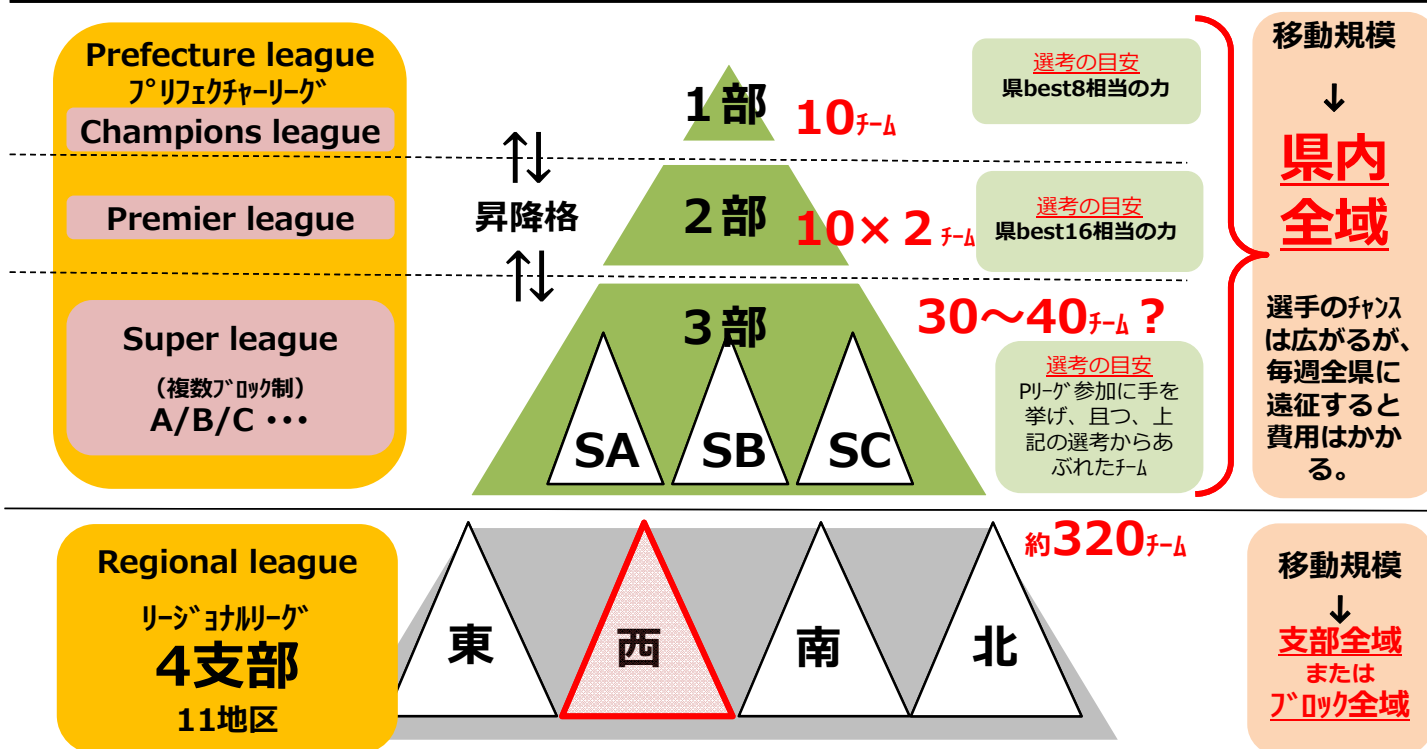
- ① グループリーグのチーム数によって上記の総試合数の会場確保、日程確保、審判確保が必要となる。
- ② SBDLでは、チーム数を原則・最大10チームとする。
- ③ つまり、すべてのチームに公式戦・年間18試合が約束される。
(JBAから提示された年間試合数は「15~20試合以上」のため、条件を満たす)

■ リーグ構造 「全体イメージ」

28年度SJB所属校数 **男子386、女子380**

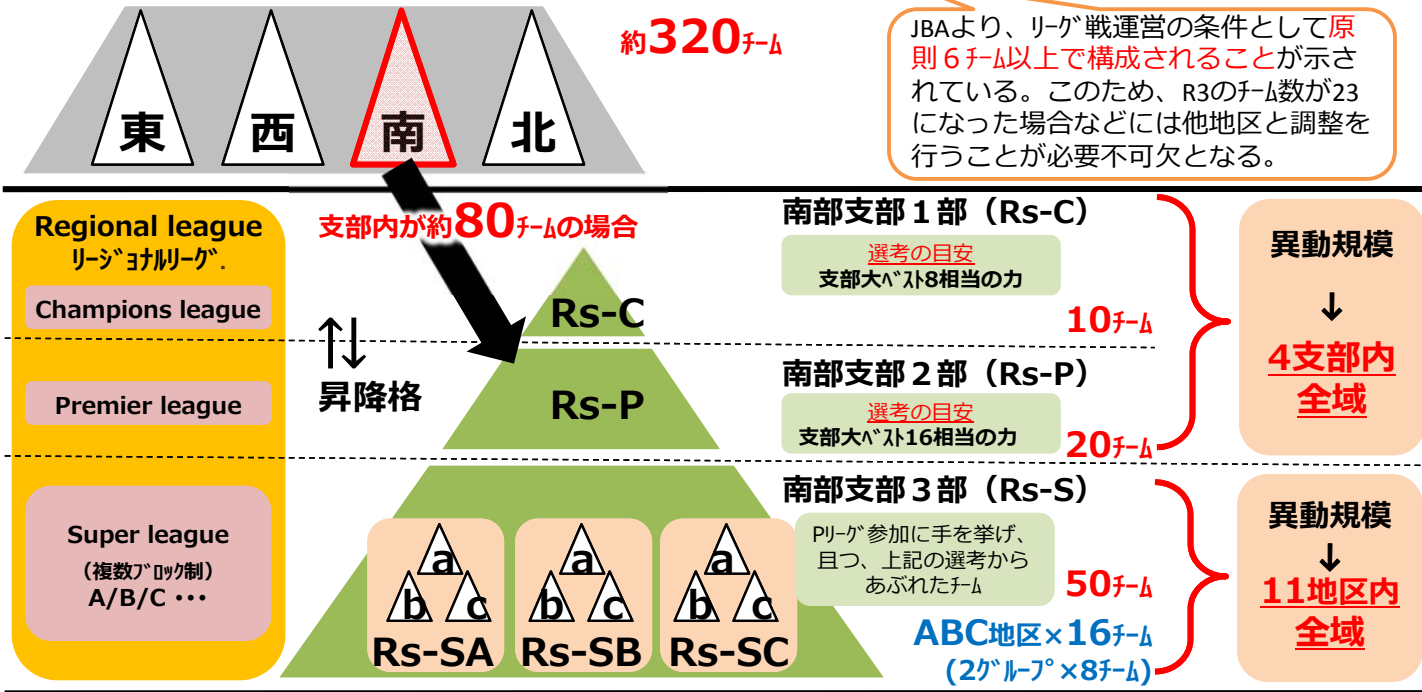
※ PCか.PPか.PSか、RLか、どのリーグに所属したいかは、各チーム希望制。

※ 希望数が所属最大数を上回った場合は、前年度成績を参考にして、事務局が振り分ける。



■ リーグ構造 「Regional league(イージ)」

- ※ Rリーグ内の、1.2部か3部か、どちらに所属するか決めるのは、各チーム。希望制。
- ※ 昇降格は、Pリーグ内とRリーグ内1.2部の間でのみ行う。(希望制のため)
- ※ RSリーグは、チーム数に大きくばらつきが出るため、他地区と調整しグループ分けを柔軟に行う。



34

3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造

■ 1日の運営例 パターンA(10チーム1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場1面使用で各チーム1日1試合の運営例

① リーグ X

下記の運営日程を9日間確保(月に3回、月1回は休息)すると、下の10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

- ※ 時間的にゆとりがあり、アップ指導なども丁寧に行えるので、ABC案の中で最も望ましい。
- ※ チームは、時間帯で会場入りできる。

	時間	Xコート	審判	空き
集合	8:00			
第一試合	9:00	A-B	I-J	CDEFGH
第二試合	10:30	C-D	A-B	EFGHIJ
第三試合	12:00	E-F	C-D	ABGHIJ
第四試合	13:30	G-H	E-F	ABCDGH
第五試合	15:00	I-J	G-H	ABCDE F
解散	16:30			

35

■ 1日の運営例 パターンB(10チーム1日1試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム半日で1試合の運営例

① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

下記の運営日程を

9日間確保(月に3回、月1回は休息)

すると、下の10チームリーグを

1周(45試合)消化可能。

※ 他競技との体育館の兼ね合いもあるため、「日程調整はできたが会場確保が困難」などという場合には有効。

※ 運営的には、少し忙しい。

	時間	OJ-T	審判	PJ-T	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	A-B	I-J	G-H	D-E	CF
第二試合	10:30	C-D	A-B	I-J	F-G	EH
第三試合	12:00	E-F	C-D			ABGH
解散	13:30					

■ 1日の運営例 パターンC(10チーム1日2試合)

10チーム(10チーム×1リーグ)が1会場2面使用で各チーム1日2試合の運営例

① リーグ X

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
A										
B										
C										
D										
E										
F										
G										
H										
I										
J										

左記の運営日程を**5日間確保**すると、下の10チームリーグを1周(45試合)消化可能。

※ 2試合目は疲労も出るため、出来れば、一日一試合が望ましい。日程調整が困難な場合など、10チームすべての了承があれば実施は可能。

	時間	OJ-T	審判	PJ-T	審判	空き
集合	8:00					
第一試合	9:00	A-B	I-J	F-G	D-E	CH
第二試合	10:30	C-D	A-B	H-I	F-G	EJ
第三試合	12:00	E-F	C-D	A-J	H-I	BG
第四試合	13:30	G-H	E-F	B-C	A-J	DI
第五試合	15:00	I-J	G-H	D-E	B-C	AF
解散	16:30					

■ 「U-15 Challenge Match」 SBDL入替戦

- ※ 運営は、リーグ戦と同様、すべて該当チーム内で行う。
(常に、運営者はチームでありチームは運営者である)
- ※ 会場は、事務局が確保する。

対戦カード (男・女、PL・RLも同様)

1部-2部間の入替

- 1部(CL)-10位 vs 2部(PL)-1位
- 1部(CL)- 9位 vs 2部(PL)-2位

2部-3部間の入替

(SLの対戦カードはくじで決定する)

- 2部(PL)-10位 vs 3部(SA)-1位
- 2部(PL)- 9位 vs 3部(SB)-1位
- 2部(PL)- 8位 vs 3部(SC)-1位

タイムスケジュール

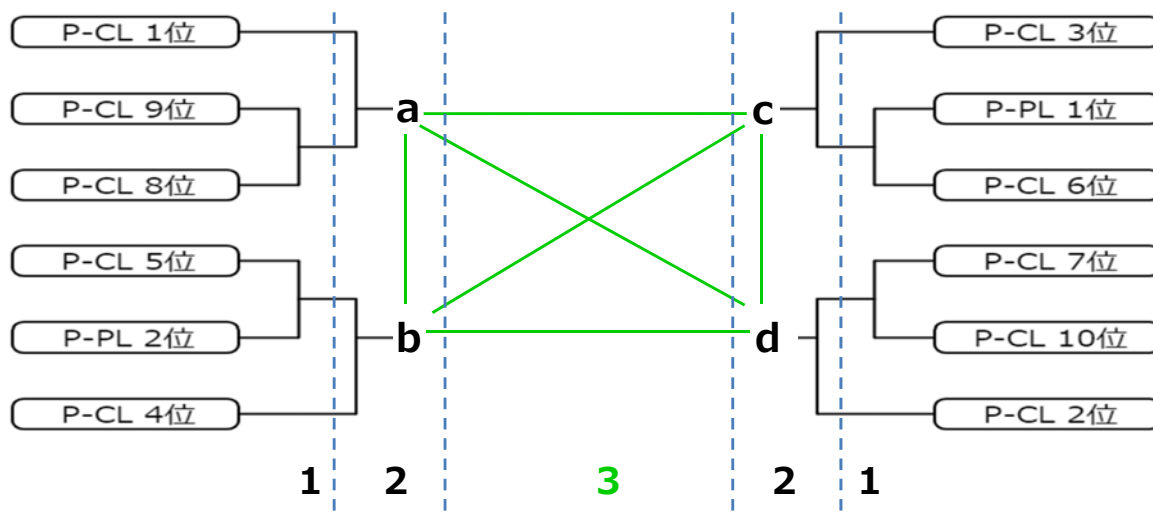
	時間	コート	審判	コート	審判
集合	8:00	Prefecture league		Regional league	
①	9:00	C10-P1	P10-SA1	C10-P1	P10-SA1
②	10:30	C9-P1	C10-P1	C9-P1	C10-P1
③	12:00	P10-SA1	P8-SC1	P10-SA1	P8-SC1
④	13:30	P9-SB1	C9-P1	P9-SB1	C9-P1
⑤	15:00	P8-SC1	P9-SB1	P8-SC1	P9-SB1
解散	16:30				

各試合の勝敗に基づいて昇降格を行い、Autumn round U-15 を迎える。

■ 「U-15 Winter Madness」 SBDL入替戦

3日間開催、最終日はダブルヘッダーリーグ戦で丁寧に優勝を決める

「U-15 Winter Madness」 SBDL入替戦



優勝チームはJW出場権獲得

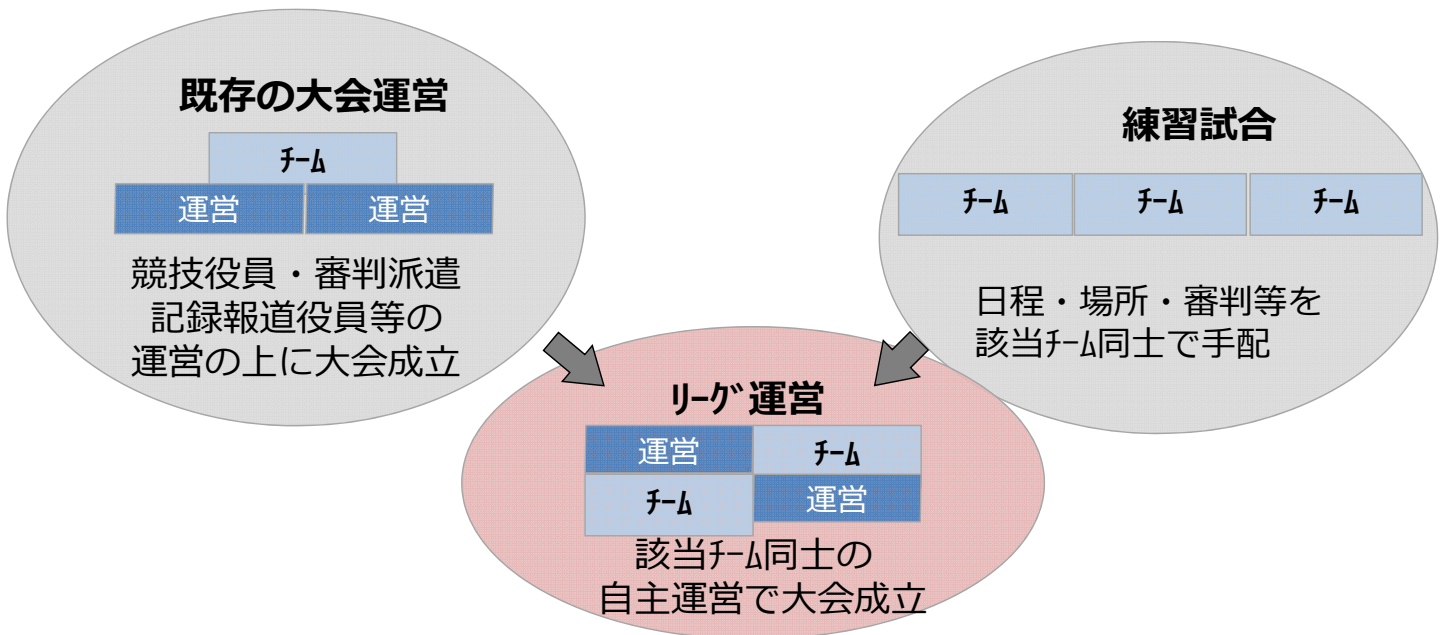
1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
2. リーグ化の意義
3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造
- 4. 運営と人的配置・設置手順**
5. リーグ戦レギュレーション
6. 今現在、準備を進めていること



4. 運営と人的配置・設置手順



■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方



- 形式がリーグ戦というだけ。
- あくまでも練習試合の感覚で自分たちの手で大会を運営。
- 何より大切にすべきことは、リーグ戦化の意義「選手の育成」

■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

トナメント運営

運営に支えられてチームがゲームをする

チーム	チーム	チーム
運営	運営	運営

勝ち続けるチーム

負けチーム・スタッフ



リーグ運営

お互いに支えあうことで、大会が成立する

チーム	運営	チーム	運営
運営	チーム	運営	チーム

勝敗に関係なく
参加チームとして
ゲームと自主運営を継続

- 常に、運営者はチームでありチームは運営者である
- 運営に勝敗は関係なし。勝っても負けても、みんなで運営。

■ 都道府県リーグスタートに向けた運営の考え方

「リーグ戦を日常にする文化醸成」実現へのリーグ運営

- ① 運営とチームを分ける考え方から、**参加者同士が相互に運営をするという考え方へシフト**する
- ② **運営を役員に任せると**いう文化の脱却がリーグ文化醸成、バスファミリーを増やす種まきになる

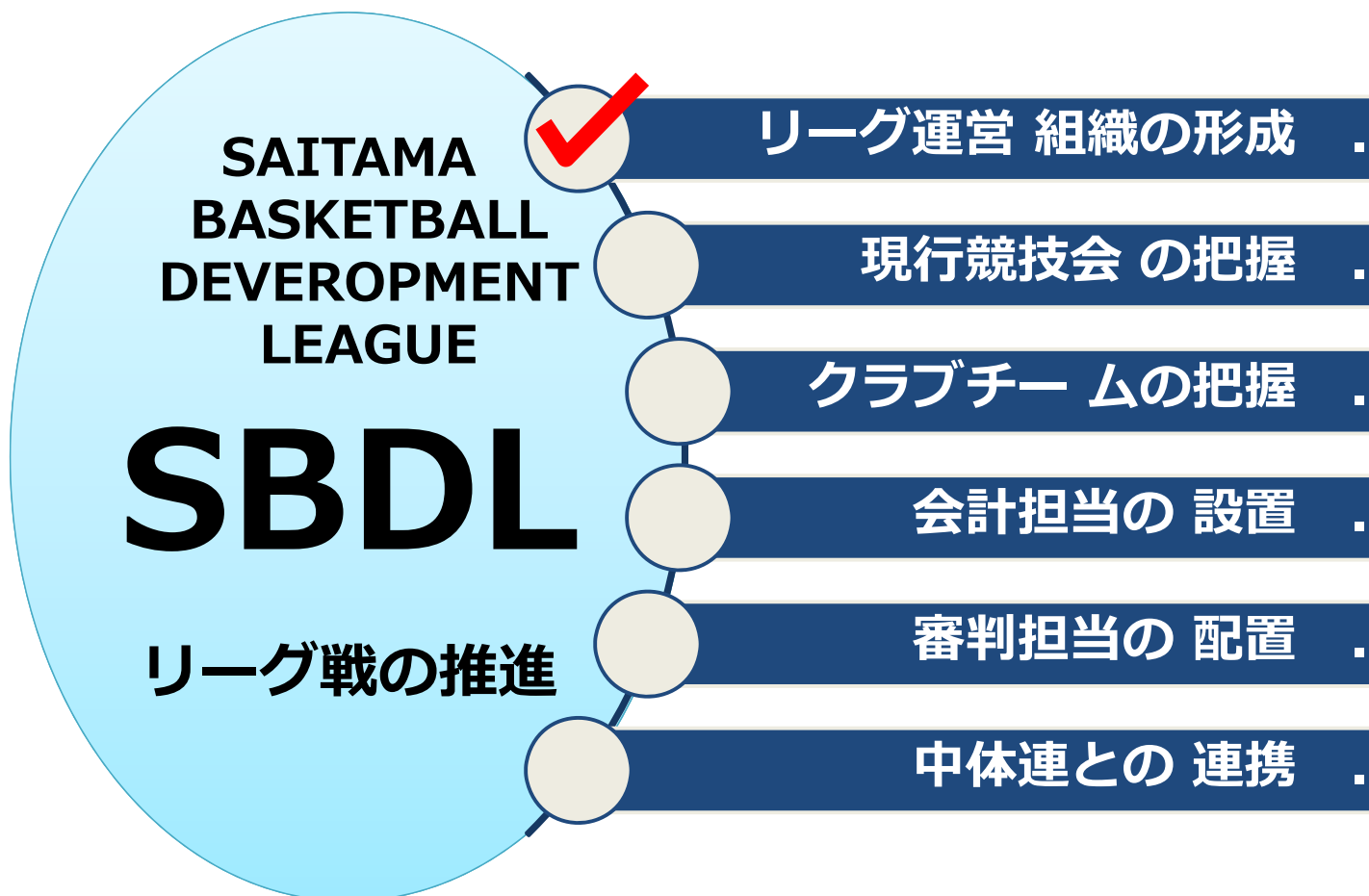
※ 当日運営以外に必要な**事前準備・中期計画・年間計画**を各アンダーカテゴリー部会で準備する

リーグ運営

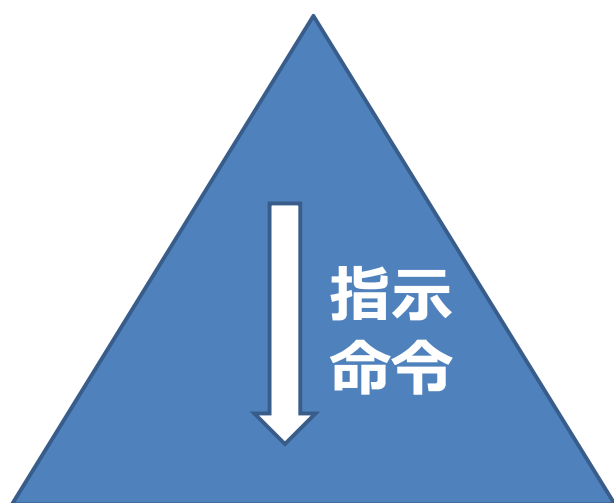
常に運営者はチームでありチームは運営者である

チーム	運営	チーム	運営
運営	チーム	運営	チーム

勝敗に関係なく参加
チームとしてゲームと自主
運営を継続



事業へのアプローチの方法



トップダウン・アプローチ



ボトムアップ・アプローチ

事業を行う際の注意点

1. DL事業展開で必要なことは、県と地区との役割分担

- ▶ 地区以下の事業は、基本的に地区で企画立案する。
- ▶ 地区の実情に即した現実的な運営が期待される。
- ▶ 地区組織の「事業への参画意識」が醸成されることも期待。

2. 県事務局は、ある程度のガイドライン作成と、地区から上がってきた案の承認を主とする。

- ▶ 県ですべてを企画から運営までをやるのではなく、**一定の権限を地区に委譲することも円滑な運営のために必要**。
- ▶ ただし、**責任の所在が県にあることを明らかにするために、承認と決定の機関として設定**する。

46

● 県事務局の主たる仕事の内容、権限

- ▶ 事業内容の承認および決定
- ▶ JBAからの情報伝達、連絡（技術やマネジメント、ルール改正等）
- ▶ 会計処理の方法（報告書の作成や予算の使途等）

● これまでの事業を通して、組織としての課題

- ▶ 一番の課題は、**組織の脆弱性**（様々な場面で問題が起きた）
- ▶ 特に、**会計処理と連絡体制**の面では課題が山積していた。
- ▶ **原因**は、県準備部会の**想定甘さ、地区との連携不足**。
- ▶ このため、リーグ戦事業の議論を進める一方で、**部会の位置づけ、役割の明確化、組織の在り方の見直し**等が必要であった。
- ▶ 今後、地区へ伝達を行う。その方法については、これまでの学びを活かし、地区と密に連携をとりながら適切に運営する。

47

年度当初の理解（整理前） →→→ 埼玉県内での整理後

育成委員会 …… 旧エンデバー事業の引継ぎ
 …… 「育成センター事業」の運営
 → **育成世代の【強化の側面】**を担う
 …… 県協会の専門委員会の一つ

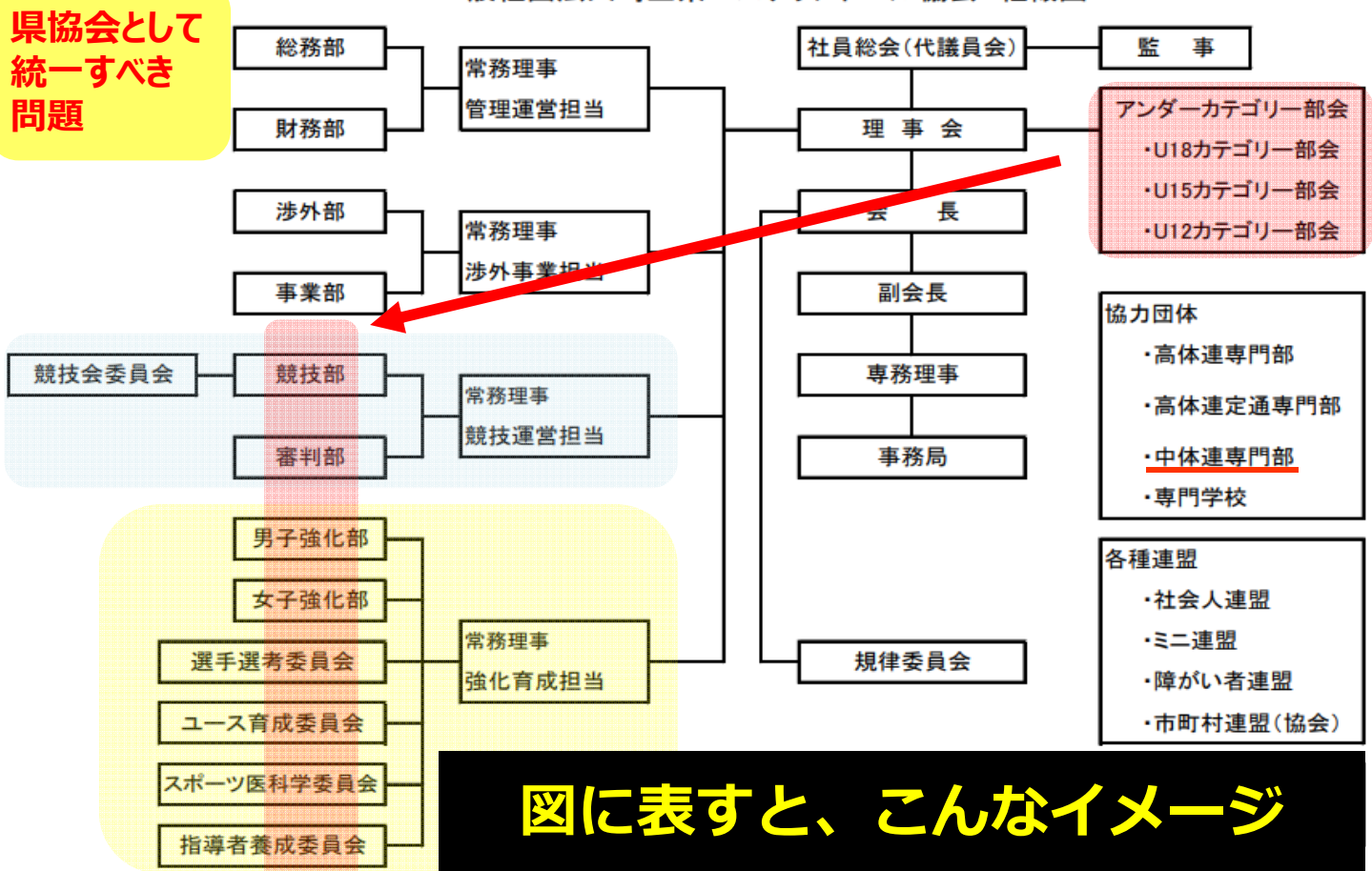
アンダーカテゴリ部会 …… 新設
 …… 「リーグ戦事業・県協会主催競技会」の運営
 → **育成世代の【普及の側面】**を担う
 …… **県協会としてのU12.U15.U18世代の各カテゴリーを総括する役割を担う。**

- 育成委員会とアンダーカテゴリ部会は別組織、このため会議も別々に行う。
- ただし、それではうまくいかないのでは、連携をとりながら上手に進める。
- しかし、総括する組織とその機能がないため、連絡体系や役員配置の整理が曖昧なまま統治できなかつた。カテゴリー内でのトラブルはリーグ戦事業もDC事業も同時並行に起こり、把握や対応に苦労した。組織全体の方向性の修正が必要だということが全体で確認された。

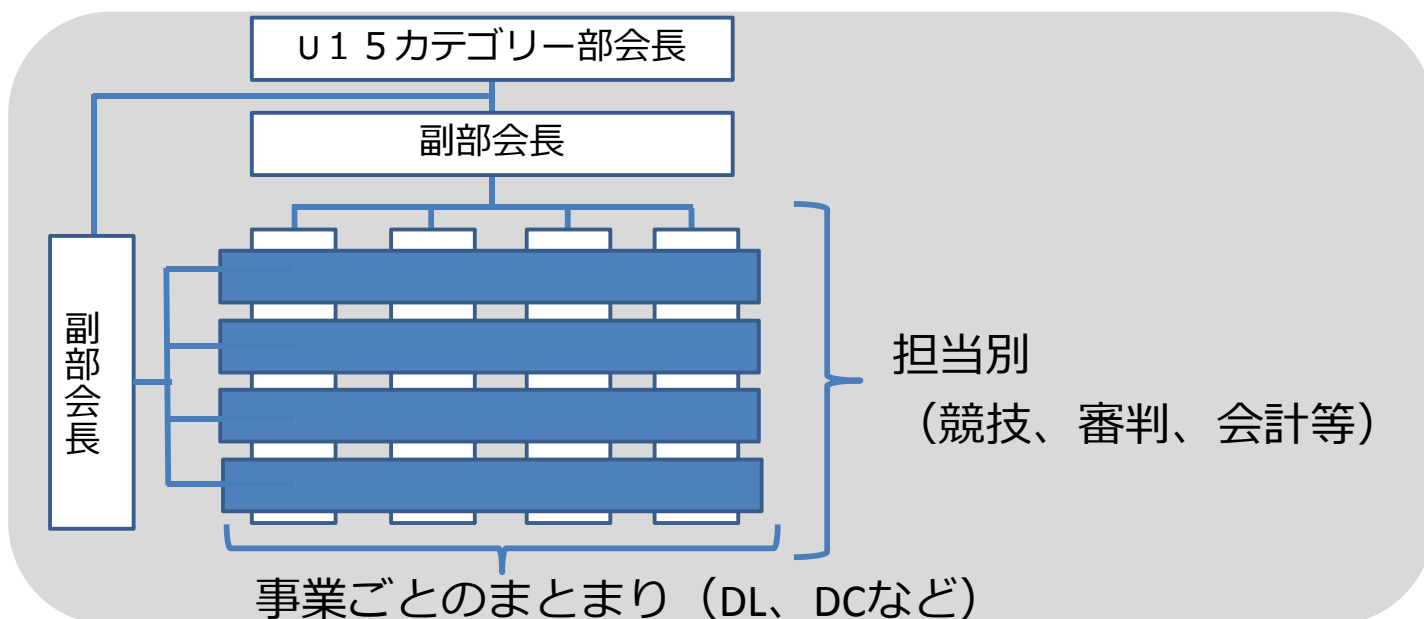
→ **アンダーカテゴリ部会は、各カテゴリーを総括する機能を持ち、カテゴリー内における専門委員会への役員配置や連絡体系等を把握する。**

4. 運営と人的配置・設置手順（埼玉県協会 SBAの組織）

一般社団法人埼玉県バスケットボール協会 組織図



U15カテゴリー部会の組織構造の考え方



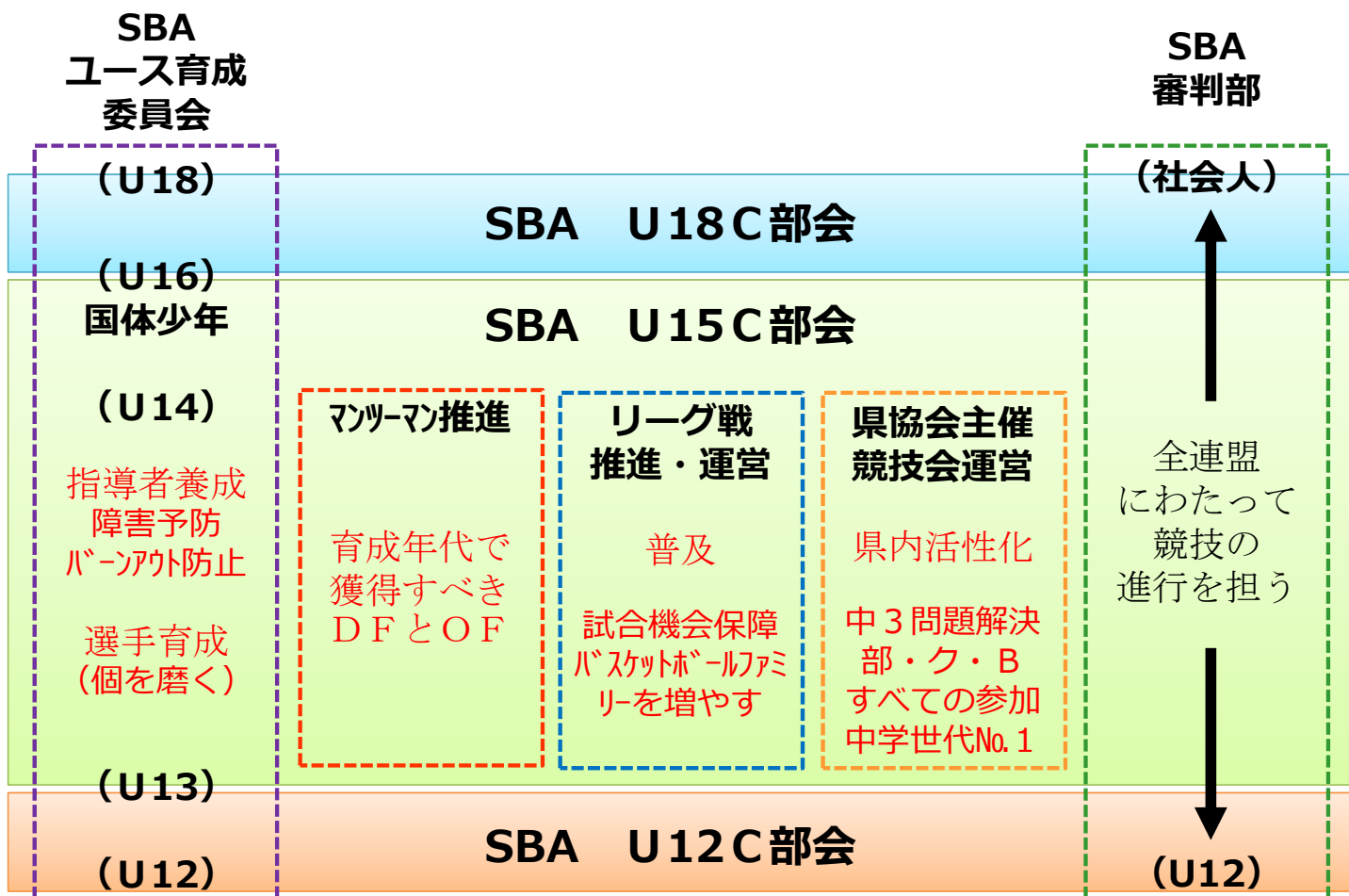
マトリックス構造

事業毎に各担当をおくことでその事業毎に完結した作業（提案から実施まで）ができると同時に、担当ごとの専門性の向上を目指すものである。

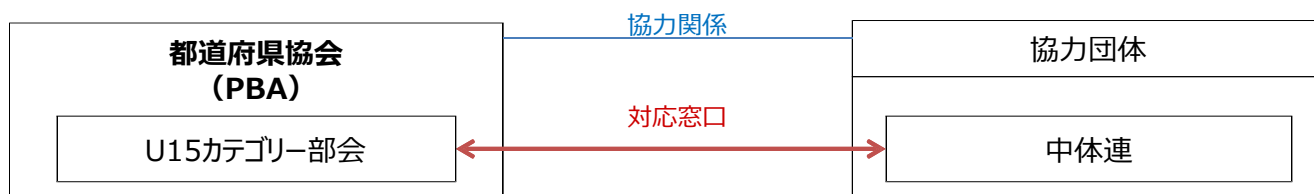
DLという事業を運営するための組織構造

U15カテゴリー部会の中に、DL事業部をつくり、実務作業はこの事業部内で行うこととした。





2018年度以降の中体連との関係

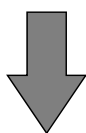
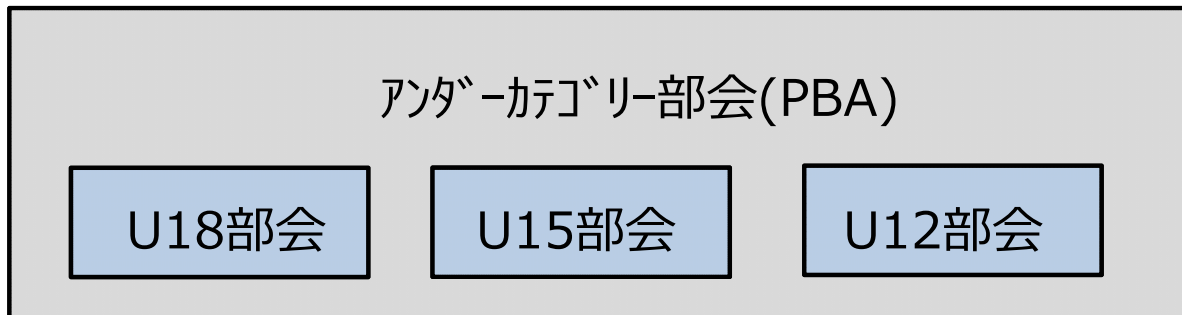


- ・ 2018年度以降、都道府県中体連は都道府県協会の協力団体とする。
- ・ 中体連との対応窓口はU15カテゴリー部会が担当する。
- ・ 中体連主催競技会事業の会計は、中体連で行う。
- ・ 協力関係とは
 - 中体連主催競技会に関する協力（主に競技運営面）
 - U15カテゴリー事業（リーグ戦・育成事業等）への協力依頼

マンツーマン推進（都道府県マンツーマンディレクターの位置付け）

- ・ U15/U12カテゴリーの大会運営に関わる
- ・ アンダーカテゴリー部会内に位置づける
- ・ 大会運営実施の際にコミッショナー設置を担当する
- ・ 都道府県内マンツーマン推進を達成するために周知、コミッショナー育成の役割

■ 都道府県リーグのスタートへ向けて（JBAより）



- ① 各カテゴリでリーグ運営事務局の設置、人的配置
- ② 各カテゴリでバラバラの地域区分を部会として統一
(アンダーカテゴリ部会の縦のつながりが今後必須)

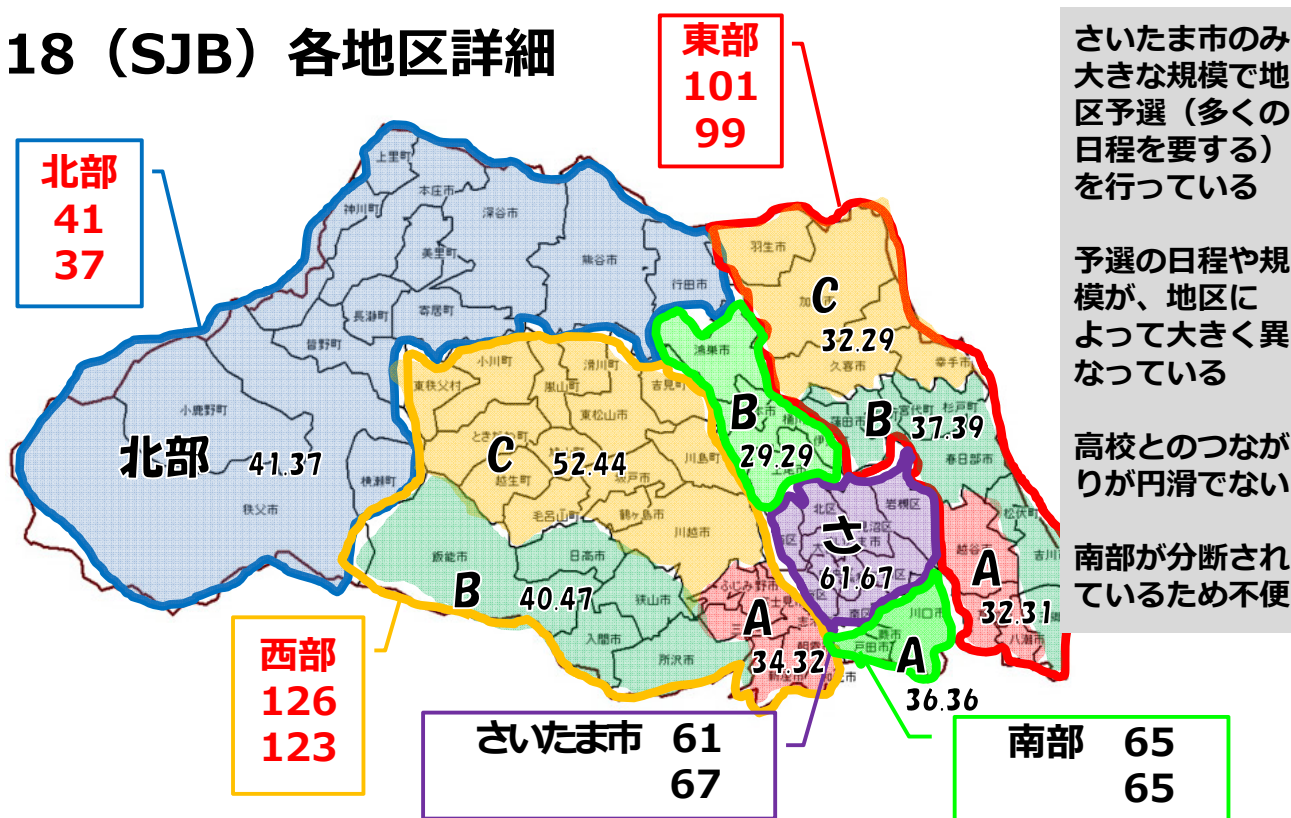
2018まで・・・「東西南北さ：5地区」「11地区」

2019以降・・・「東西南北：4支部」「11ブロック（1ブロック30校程度）」

■ SBDL地域区分の見直し（SBAとしての統一）

28年度SJB所属校数
男子386、女子380

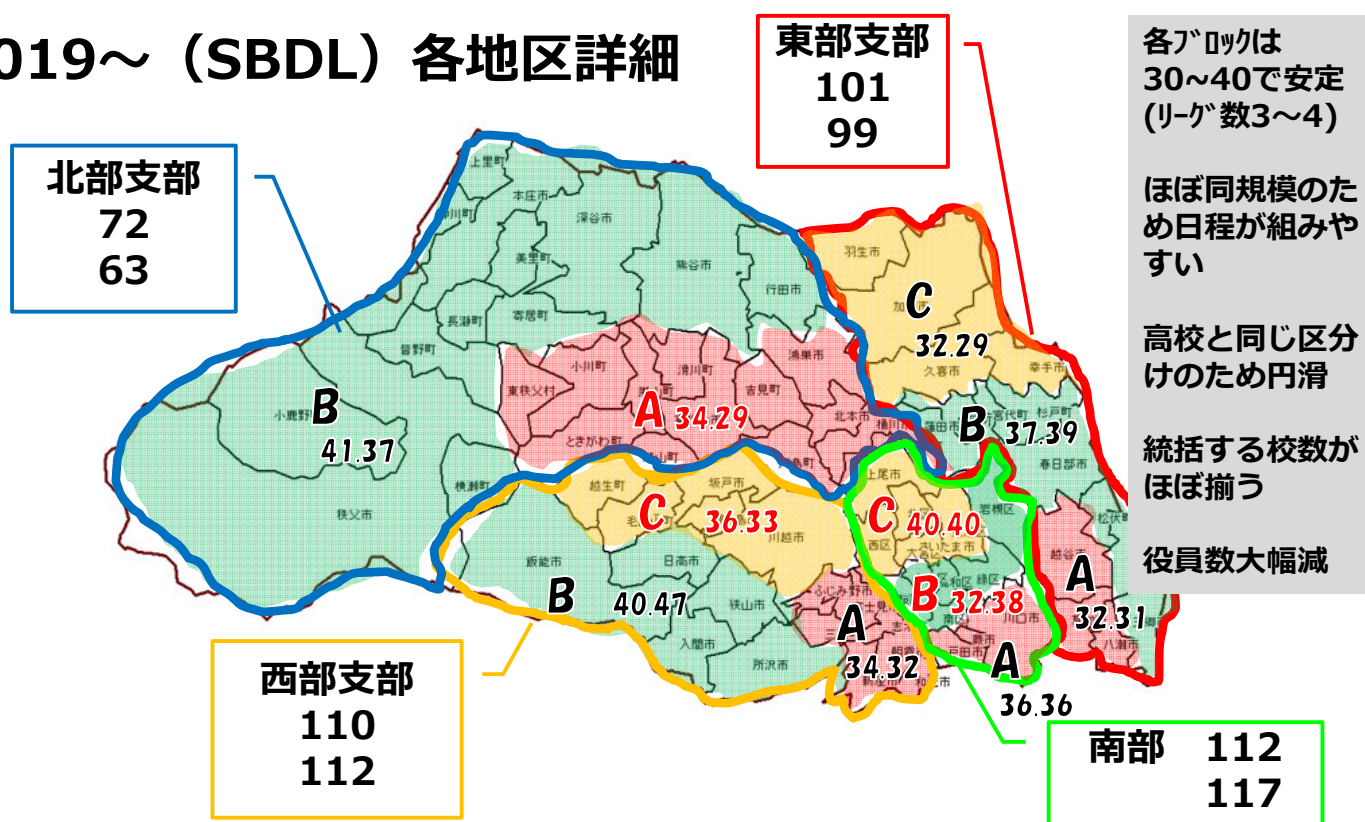
～2018（SJB）各地区詳細



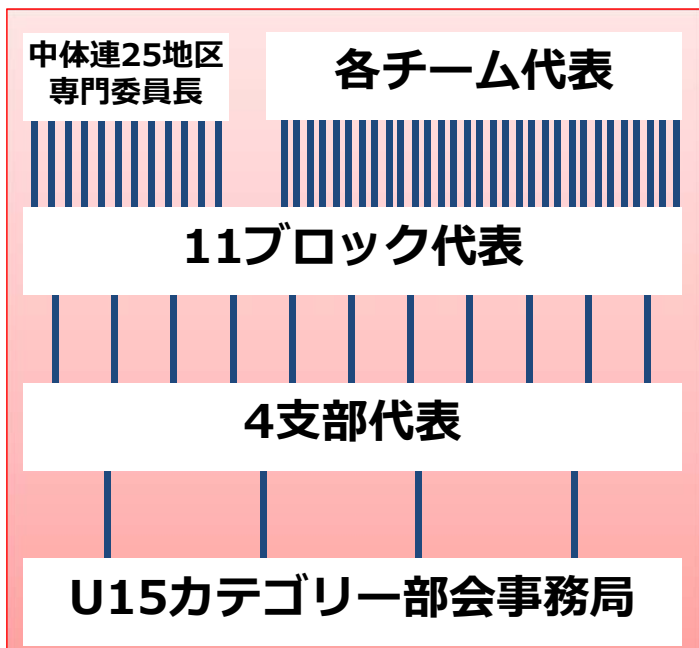
■ SBDL地域区分の見直し（SBAとしての統一）

28年度SJB所属校数
男子386、女子380

2019～（SBDL）各地区詳細



基本的な連絡体制は、以下の4段階。集約も同様。情報発信は、JBA一斉メールや埼玉県協会HPへの掲載も利用する。



- 各支部内の活動についてもU15C部会が管轄する（各地区の活動計画、予算・決算の掌握等）
- 25地区専門委員長へは情報共有として連絡

■ 学校数一覧

11地区	男	女	市町村名	男子	女子	
東部支部	東部A	32	31	越谷・八潮 草加	21 11	20 11
	東部B	37	39	春日部 蓮田・白岡・宮代・杉戸	11 14	12 14
	東部C	32	29	行田・加須・羽生 久喜・幸手	19 13	18 11
		101	99		101	99
西部支部	西部A	34	32	朝霞地区（朝霞・志木・和光・新座） 入間東部	20 14	18 14
	西部B	40	47	所沢 狭山 入間	15 8 9	15 9 11
	西部C	36	33	入間西部 川越	8 24	12 21
		110	112	入間北部	12	12
南部支部	南部A	36	36	川口市 蕨・戸田	26 10	26 10
	南部B	36	42	さいたま市A（岩槻、浦和区、桜区、緑区、中央区、南区）	36	42
	南部C	40	39	さいたま市B（旧大宮市一北区、西区、大宮区、見沼区） 上尾 伊奈	26 11 3	25 11 3
		112	117		112	117
北部支部	北部A	31	26	北足立北部（現行は南部） 比企郡（現行は、西部）	15 16	15 11
	北部B	41	37	秩父 児玉 熊谷 深谷・寄居	10 9 12 10	9 9 9 10
		72	63		72	63
男女合計	395	391	総合計	786		

58



59

4. 運営と人的配置・設置手順（組織の形成・役員配置）



SBA U15部会 役職	氏名	所属チーム
部会長	立花 正司	越生・越生
副部会長	奥谷 光彦	新座・第六
副部会長(広報部)	伊藤 裕一	さいたま・埼玉栄
副部会長(リーグ事業部)	青木 徹	寄居・寄居
クラブチーム代表	目 由紀宏	ガウチョーズ
中体連代表(委員長)	川鍋 暁史	さいたま・木崎
東部地区代表	石合 雅徳	吉川・中央
西部地区代表	櫻井 智彦	ふじみ野・大井
南部地区代表	佐藤 正規	さいたま・尾間木
北部地区代表	江尻 貴光	秩父・小鹿野
埼玉県運営担当	上村 敬幸	たんぼぼ
埼玉県運営担当	長谷河 健志	秩父・第一
総務担当(文書担当)	渡辺 徹	加須・東
総務担当(登録担当)	水野 杏美	越谷・光陽

SBA U15部会 役職	氏名	所属チーム
財務担当(中体連)	泉 利恵	さいたま・木崎
財務担当(クラブ)	池田 あゆみ	ENS
競技担当	有山 智久	日高・高麗川
審判担当	若林 哲	川口・鳩谷
物販担当	栗原 良紀	東松山・南
物販担当	鶴崎 弥生	嵐山・菅谷
U14総括マネージャー	櫻井 智彦	ふじみ野・大井
U14男子総括マネージャー	眞通 宏太郎	川口・安行東
U14女子総括マネージャー	長谷川 隆司	鴻巣・吹上
マンツーマンディレクター	山崎 孝浩	白岡・篠津
埼玉県協会事務局長	青砥 修二	埼玉県協会
学識経験者	川原田 一郎	草加・新栄
広報	業者	

4. 運営と人的配置・設置手順（組織の形成・運営委員）



■ 県内リーグ実施の人的配置

運営事務局 ※運営委員とは掛け持ちしない

委員長(立花) 副委員長(奥谷) クラブ(目)
 競技(有山) 審判(若林) 財務(齊藤、池田) 総務(渡辺、水野) 広報(業者)

運営委員 ※ () の中の運営委員は、各ブロック10チーム内から決定される。

		運営委員								備考
Prefecture league 県	1部	() ()								県チーム (長谷河) (上村)
	2部	() ()								
	3部	() ()								
Regional League 4支部	4部	()	()	()	()	()	()	()	()	4支部チーム 東(石合) 西(川端) 南(齋藤) 北(青木)
	5部	()	()	()	()	()	()	()	()	
	6部									

<運営事務局役職の所管事項>

部会長・副部会長	全体統括、委員会招集と運営、全体スケジュール策定、カテゴリー別事業計画（開催要項）、交付金申請集約・精査渉外、（JBA/専務理事会/各種連盟/ブロック協会）、情報展開
競技担当	カテゴリー別競技規則策定、競技運営ルール、競技運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
審判担当	帯同審判制の策定（ニュートラル審判依頼制度の検討）、審判運営に関わる各カテゴリーとの連絡調整
財務担当	交付金申請の集約・精査、JBA申請手続き業務全般、県リーグ運営に関わる会計全般、競技運営部会計との連絡調整
運営担当	リーグ編成の策定、カテゴリー別リーグ戦の運勢主管（運営責任者の選定）、カテゴリー別事業計画（開催要項）、交付金申請書の作成/提出、スケジュール策定、会場策定、関係団体及びチームへの説明及び連絡調整
地区担当	カテゴリー別リーグ戦の運営主管、県および地区リーグの会場調整、地区内市町村協会との連絡調整、ブロック内審判員の確保

62

4. 運営と人的配置・設置手順

■各リーグのセクション組織の方法

「注意点」

- バス未経験者にいきなり役職が回ってきたときに負担にならないように役割分担を行う。
- 「運営者」＝「チーム」「選手のために運営を行う。」子どもがゲームをすることが一番の目的。
- 全リーグ運営方法を統一することでチーム代表への負担を減らす。

仕事内容（例）

	仕事内容
運営委員 2名	○リーグ戦内において各チームの代表者に役割分担を依頼（二人で相談する） ○リーグの実際の運営、要項作成、スケジュール策定、（パンフレットの作成）（1名） ○地区担当との連絡調整、試合結果報告、関係チームへの連絡調整等（1名）
競技担当 2名	○機材の管理・準備、スコアシートの準備・管理、対戦表等の管理等（1名） ○マンツーマンコミッショナーの会場担当者、選手・コーチ証（ID）の確認（1名）
審判担当 2名	○帯同審判の策定、割り当ての作成、審判部との連絡等（2名） *ライセンス取得者が望ましい。
財務担当 2名	○リーグに関わる会計、競技運営部会計との連絡調整等（2名）
会場担当 2名	○会場準備調整、会場の写真撮影（1名） ○駐車場・駐輪場確認、会場での安全管理（1名）
A・Bチームが「運営委員」C・D「競技担当」E・F「審判担当」G・H「財務担当」I・J「会場担当」	

再度仕事
内容の精
選が必要

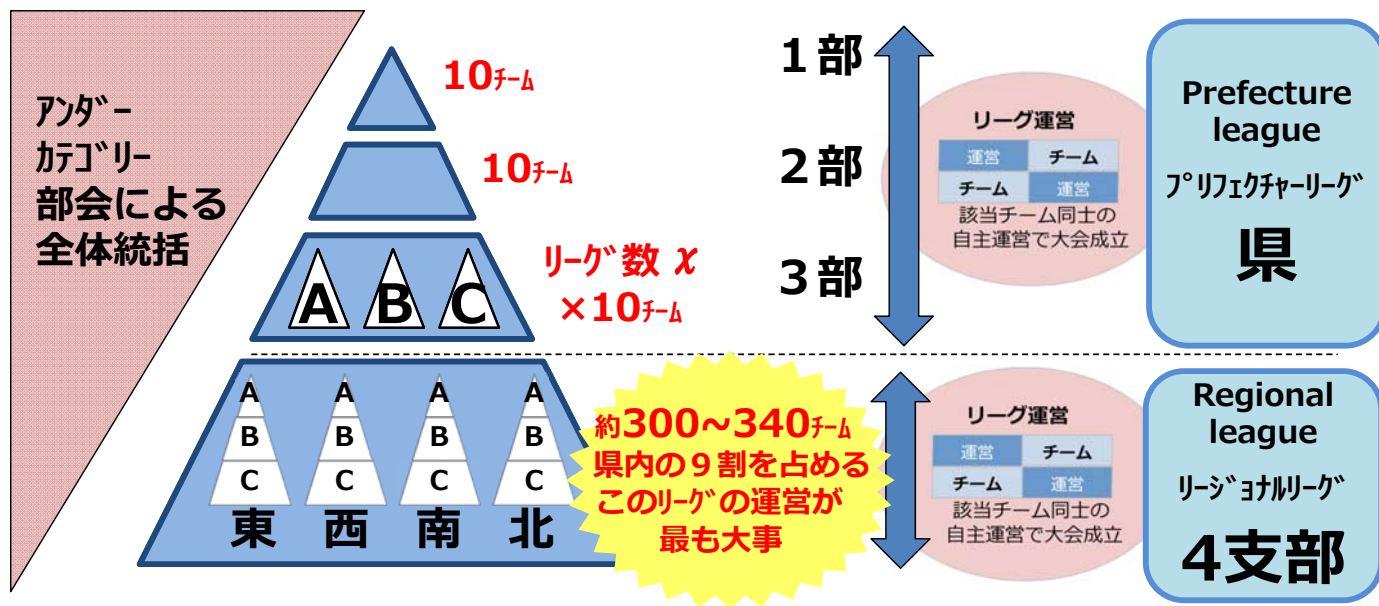
「伝達方法」

- Pリーグ（県）の「運営委員」は、U15部会で依頼する。
- Rリーグ（支部）の「運営委員」は、U15部会の「地区代表」が依頼する。
- 「運営委員」が各チーム代表者に役割分担を依頼する。
- 仕事内容は、U15部会で各セクションからの伝達を「運営委員」が伝える。
- 専門外のチーム代表者がいることに配慮して役割分担を依頼する。（リーグの構成によって柔軟に）

63

■ SBDL運営イメージ

28年度SJB所属校数
男子386、女子380



運営事務局 (7~8名)

運営委員 (2名 \times リーグ数)



県内リーグ全体の運営統括



各リーグ内の運営・調整



バスケットボールが 日本を元気にします!

1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
2. リーグ化の意義
3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造
4. 運営と人的配置・設置手順
- 5. リーグ戦レギュレーション**
6. 今現在、準備を進めていること



5. リーグ戦レギュレーション



■ SBDLの順位決定方法

- **チームの順位は、勝ち点（ポイント）によって決定**し、リーグ戦全日程が終了した時点で、勝ち点が高いチームを各ブロックの上位とする。

勝利・・・2点 敗北・・・1点 没収試合・・・0点

- ただし、**勝ち点で同じ順位になった場合**には、以下の各号の順序により順位を決定する。
 1. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの勝ち点が多いチーム
 2. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの得失点差が多いチーム
 3. 当該チーム同士が対戦したゲームのみでの1試合の平均得点が高いチーム
 4. リーグ戦全日程における得失点差が多いチーム
 5. リーグ戦全日程における1試合の平均得点が高いチーム

■ SBDL U15 運営に際し以下を**規定**とする

- リーグ期間は、前期・後期の**年間2ステージ**を設定
- 選手の2つ以上のチームへの登録は不可 (**二重登録不可**)
- 登録期間は4/1～5/10。(5/12頃から入替戦) 移籍期間は7/25～7/31。
- 選手の**登録チーム変更はリーグ期間中は不可**
(原則、移籍期間中にのみ可、転校等の場合は特別に認める)
- **コーチは、JBAコーチライセンスE級以上の資格保持者**
- **審判は、JBA審判ライセンスE級以上の資格保持者**
- **ベンチで指揮を執るコーチは、コーチライセンスをぶらさげる。**
- ゲーム開始前、コーチは、選手の登録証を提示する。
運営委員は、**提示された登録証とエントリーシート**を照らし合わせ、
エントリーと同じ選手が試合に参加することを確認する。
(2つ以上のエントがあるチームについては、エントリーしたエントどおりの参加かどうかも確認を行う) …運営委員の中に「エントリーチェック」の仕事を設置
- 二重登録の発覚、JBA未登録選手の出場、エントリーしたものと整合性のない選手の出場、など**登録上の不備が発覚した場合、該当チームは、リーグ期間中のゲームはすべて20-0で敗戦の結果とする。**

登録は～5/10までのため入替戦参加チームは注意が必要。
その他は、学校登録し総体後に移籍することは可能。
※ただし、いずれ5・6月にリーグの可能性もゼロではない…

※ 当面の間は、推奨とする。

■ SBDL U15 運営に際し以下を**推奨**とする

- 複数チームエントリーの場合、2チーム目以降の登録人数を**7名以上**
- 年間試合数は**15～20試合以上**
- U15チーム登録にU12選手の飛び級登録は可(**枠数2名**)

■ リーグ戦運営事業としての条件 (D-fund申請が対象事業条件より一部抜粋)

- 都道府県協会主催事業であること
- **参加選手がJBA登録をしていること**
- ベンチで指揮を執る指導者は**JBA公認コーチライセンス**を取得していること
- 担当する審判員は**JBA公認審判ライセンス**を取得していること
- 原則として**6チーム以上**で構成されるリーグであること
- 1チームあたりの試合数が5試合以上確保されること

■ その他

- 年間試合数は **15～20試合**以上
- U15チーム登録にU12選手の飛び級登録は可(**枠数2名**)

■ リーグ戦運営事業としての条件 (D-fund申請が対象事業条件より一部抜粋)

- 都道府県協会主催事業であること
- **参加選手がJBA登録をしていること**
- ハンドで指揮を執る指導者は**JBA公認コーチ**を取得していること
- 担当する審判員は**JBA公認審判員**を取得していること
- 原則として **6チーム以上**で構成されるリーグであること
- 1チームあたりの試合数が5試合以上確保されること

■ ユニットのエントリー規定

- JBAにチーム登録をしていること。
- ユニットがどのリーグに所属するかは希望性である。その希望を受けてSBDL運営事務局により所属リーグを決定する。
 - 所属リーグの決定方法に際しては、5 所属リーグの区分け方法とU15選手権都道府県予選トーナメント参加資格を参照。
- 1つのチームが複数のユニットをつくり参加することができる。
 - 同一チーム内の別のユニットが同じリーグへ参加することを認める。
 - **複数ユニットを組む場合**は、以下の条件を満たさなければならない。
 - ア **ファーストユニット7名以上、セカンドユニット以降も7名以上**であること
 - イ ユニット名はファーストユニットが **(チーム名) A**、セカンドユニット以降は **(チーム名) B・・・**とする。
 - ※ この規定はあくまでも複数のユニットを出す場合に適用されるのであって、チームから1ユニットしかリーグ戦に出場しない場合は適用されない。つまり、チームから1ユニットしかエントリーしない場合は、5名以上選手がいればリーグ戦に参加可能である。

■選手のエントリー規定

- ▶ JBAにチーム登録をしているチームに所属し、個人登録をしている者。
 - JBAの登録証は大会中必ず携帯すること。
 - 2018年度からの3年間（2018年度～2020年度）の移行期間に限り、Bクラブと中学（部活動）、Bクラブユースとクラブチームの二重登録を認める。
- ▶ 選手は、自分の所属しているチームのユニットでのみ参加することができる。
- ▶ 選手のエントリーに関わり、以下の取り決めを行う。
 - Bクラブユースと中学（部活動）、Bクラブユースとクラブチームの二重登録をしている場合、どちらのチームにエントリーするかは選択することができる。ただし、どちらのチームでもエントリーすることはできない。また、移行については県で決められた移行期間内では移行することができる。
- ▶ U12/U15/U18のカテゴリー枠を超えた選手の飛び級参加を認める。ただし、飛び級を認めるのは以下の場合のみである。
 - 飛び級とは年齢が下位のカテゴリーから上位のカテゴリーの移行を指す。
 - 同一Bクラブユース、クラブチーム、または中高一貫校の中での飛び級であること。
 - 飛び級による選手のエントリー枠をアンダーエイジ枠とし、各ユニットのアンダーエイジ枠は最大2名とする。
- ▶ 選手の移籍については、以下のように行う。
 - 中学（部活動）、クラブチーム、Bクラブユースのいずれかに登録を行った後、年度内で1回のみ移籍を認める。
 - 移籍の手続きは、8月21日～8月31日の期間のみ。それ以外の期間での移籍は認めない。
 - 移籍の手続きは、所定の書類を作成し、SBDL運営事務局まで提出すること。

■コーチのエントリー規定

- ▶ チームおよびユニットのコーチはE級ライセンス以上を保持しなければならない。
- ▶ 以下の遵守事項を守り、指導にあたること。万が一、この事項が守られない場合は、コーチのエントリー資格を剥奪する場合がある。また、翌年以降もエントリーを認めない場合がある。

<遵守事項>

暴力根絶宣言を行い、行動規範を遵守する。
 行動規範には暴言暴力のほか、不適切な指導、安全義務違反、リクルート、金品の贈与および受理が含まれる。
 特に重大な過失を伴う重い事故が生じた場合、保険だけでは対応ができない場合があること、指導者個人が訴訟対象となることを認知しておくこと。

1. リーグ戦実施に向けた準備等の経緯
2. リーグ化の意義
3. リーグ戦年間スケジュールとリーグ構造
4. 運営と人的配置・設置手順
5. リーグ戦レギュレーション
6. 今現在、準備を進めていること

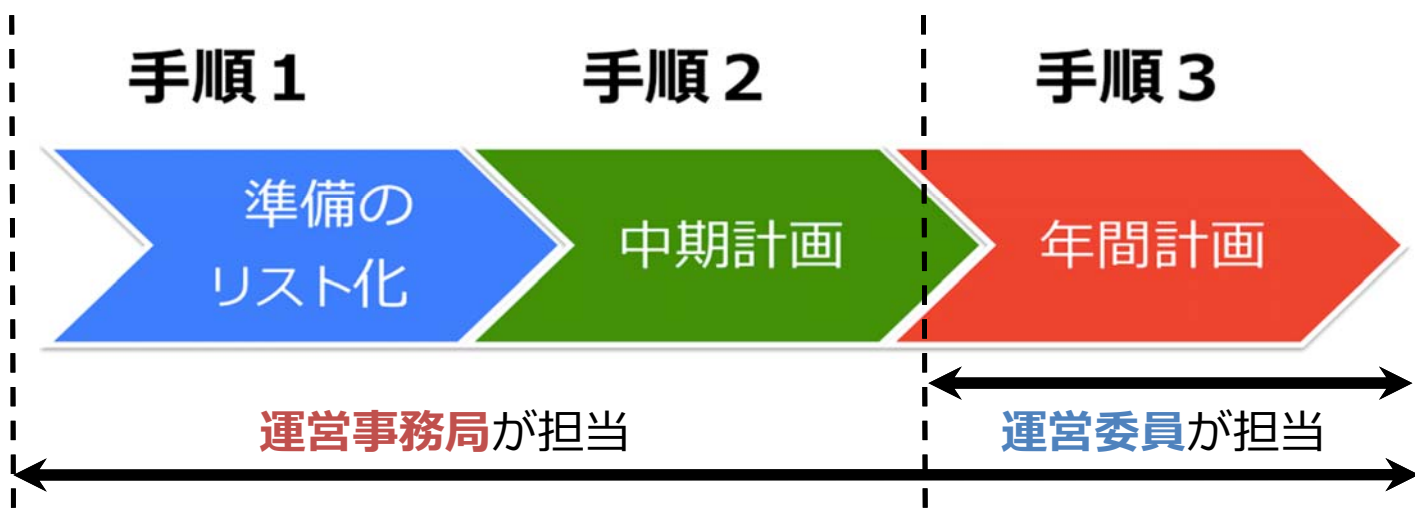


6. 今現在、準備を進めていること



■ リーグスタートへ向けた設置手順

リーグ運営事務局は、手順1～3でリーグ準備を進めます



運営事務局 (7～8名)

➡ 県内リーグの運営統括

運営委員 (2名×リーグ数)

➡ 各リーグの実際の運営・調整

※ 運営委員は必ず該当リーグ内から選出 (自分たちで運営するのが基本スタンス)

■ 手順 1 準備のリスト化

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

詳細作成ではなく全体把握のための項目確認

以下 3 項目のリスト化

1 リーグ開幕前(準備段階)の必要項目

(スケジュール・グループ分け等)

2 リーグ期間中に必要な作業項目

(試合結果・試合調整の連絡方法等)

3 リーグ期間中のエラー発生時の解決手順

(問題発生時の手順・決定の流れ等)

■ 手順 1 準備のリスト化

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

1. リーグ開幕前(準備段階)の必要項目

- ① スケジュール
- ② **グループ分け**
- ③ 人的配置
- ④ レギュレーション
- ⑤ 運営費の整理
- ⑥ 運営機材の確認
- ⑦ 体育館確保
- ⑧ **全体への通達、共通理解、Q&Aの場・・・★★★★**
- ⑨ ホームページの設立
- ⑩ 審判調整
- 11 要綱作成**
- 12 部署ごとの運営マニュアル作成・・・★★★★**

■ 手順 1 準備のリスト化

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

2. リーグ 期間中に必要な作業項目

- ① 試合結果・試合調整の連絡方法
- ② 体育館調整（予備体育館の確保）
- ③ 他連盟審判員の管理
- ④ 役員の把握、旅費の支払い
- ⑤ ミッション
- ⑥ 勝ち上がり、優勝チームのHPへの掲載
- ⑦ 表彰（賞状、カップなど）
- ⑧ コーチ証ぶらさげ、レフェリーワッパンの確認
- ⑨ 初年度リーグの評価・オペレーション見直し
- ⑩ 日程の見直し・調整
- 11 次年度参加チームの調整

78

■ 手順 1 準備のリスト化

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

3. リーグ 期間中エラー発生時の解決手順

- ① 問題発生時の報告手順
- ② 対処の流れ・・・・・・・・（SBA規定との照らし合わせ）
 - I. 機材の故障
 - II. 突然の体育館使用不可
 - III. 帯同審判の不在
 - IV. コーチ証なし

79

■ 手順 2 中期計画

準備の
リスト化

中期計画

年間計画

準備年から完成年までの中期計画



リーグ戦の運営例

→ リーグの予定の計画方法、1日のタイムスケジュール、役員の配置

各種リーグ戦実施要綱

→ 競技規則、会場使用上の注意 など

審判マニュアル

→ 人的配置に関すること、現行ルールの確認 など

競技マニュアル

→ 施設の準備、機材の準備、TOマニュアル、スコアシート

→ マンツーマンに関する事項 など

会計マニュアル

- 会計担当者の役割、主な会計業務、予算の立て方と会計報告の方法
お金の流れ など

危機管理マニュアル

- 災害時の対応、熱中症の対応、事故やけがへの対応方法及び報告

保険

- 参加のためには加入が必須条件、保険の契約内容、加入までの手続き

★★★資料編★★★

- ・ エントリーに関する資料、リーグ戦計画表、役員一覧表、
会計に関する資料、連絡先

終わりに、、、

- バスケットボールが大好きな子どもたちの未来を、
想像よりも素晴らしいものにするために、
全国の皆様とひとつになって、
「Team JAPAN」として
埼玉県も全力を尽くして頑張ります。

- 今後とも、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
本日は、ありがとうございました。